

がんセンター だより

寄り添い、
共に歩む医療をめざして ——



目 次

- がんゲノム室長あいさつ
- 緩和ケア研修会開催
- がん相談支援センターの紹介
- 仕事に関する相談について
- ホームページ公開のお知らせ
- がん患者・家族サロンからのお知らせ
- 院内のがん相談窓口



がんゲノム室長 あいさつ

がんゲノム室長 柳川 直樹

(病理診断学講座 教授)
(病理診断科 部長)



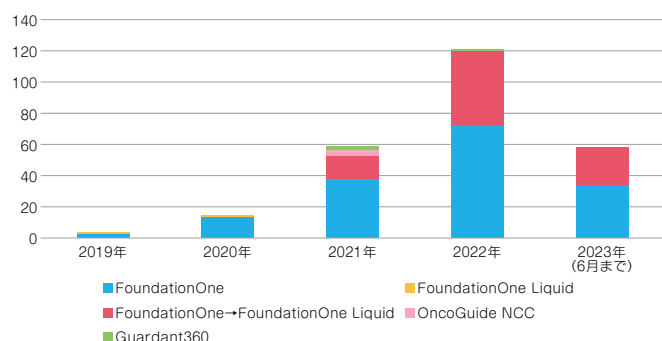
2023年4月より岩手医科大学附属病院がんセンターのがんゲノム室長を拝命しました病理診断科の柳川直樹と申します。

がんは遺伝子の異常が原因で発生することは既に広く知られています。現在まで数多くのがん関連遺伝子が発見、報告されております。未だ機能の分かっていない遺伝子もまだまだありますので、今後も新たながん関連遺伝子が発見されていくことと思われます。これらの遺伝子異常を調べて、その異常をもとに患者さん一人一人のがんの性質を見極め適切な治療法を選択していくのが、がんゲノム医療です。2000年代ごろからEGFR阻害薬のような特定の遺伝子の異常を標的とした治療（分子標的治療）が行われるようになりました。この時点ではEGFR阻害薬を全ての肺癌患者さんに投与していましたが、劇的に効く患者さんがいる一方で、ほとんど効かない患者さんもいました。この効果の

違いは何であろうか調べられた結果、2004年に同時に2つの論文が出版され、EGFR遺伝子を有する肺癌患者で奏功していることがわかりました。その後、EGFR阻害薬の投与の際には、EGFR遺伝子変異を調べる検査（コンパニオン診断）がルーチンで行われるようになりました。これが、がんゲノム医療の黎明期だったかもしれません。そして以前は一度に1つの遺伝子変異しか調べられなかったのですが、近年は検査技術の進歩により、複数（数百個）の遺伝子の異常を一度に調べられるようになり（がん遺伝子パネル検査）、2019年6月から保険で利用できるようになりました。岩手県においては、当院が県内で唯一のがんゲノム医療連携病院であるため県内外から検査依頼が届いており、年を追うごとに右肩上がりで見込数が増え、2022年には100件を超えました。さらには、以前は附属病院からが主でありましたが、最近は院外からの依頼も増えてきております（2023年7月現在Totalで、附属病院：172例、他院紹介：111例）。これはがんゲノム検査が広く認知されてきたと考えられます。

今後もこの領域は需要が増えることはあれども、減ることはないと思われます。患者さんに有効な治療を迅速に正確に提供できるよう努めて参りますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

検査数の推移





グループ演習

2023年度

岩手医科大学附属病院 緩和ケア研修会開催



緩和ケア研修会とは、がん等の診療に携わる全ての医療従事者が、基本的な緩和ケアについて正しく理解し、緩和ケアに関する知識、技術、態度を修得することを目的とした研修会です。

2023年6月17日（土）岩手医科大学附属病院において、緩和ケア研修会を開催し、当院の医師13名が参加致しました。当日は、当院緩和ケアセンターのスタッフが中心となり、講義の他、グループ演習や、ロールプレイング演習を行い、より実践的な研修を行いました。

当院では、今回の研修会で学んだことを、今後の診療に活かし、がんによる痛みをはじめ様々な症状をやわらげると共に、患者さんがその人らしく過ごせるよう支援していきたいと考えております。



グループ発表



当院スタッフ



グループ演習

がん相談支援センター

がん相談支援センターは、どなたでも無料で利用できるがんの相談窓口です。がんの診断のこと、治療や副作用のこと、治療後の療養生活のこと、お金や仕事のこと、学校のこと、家族や医療者との関係のこと、疑問や心配、不安など、どんなことでも相談できます。



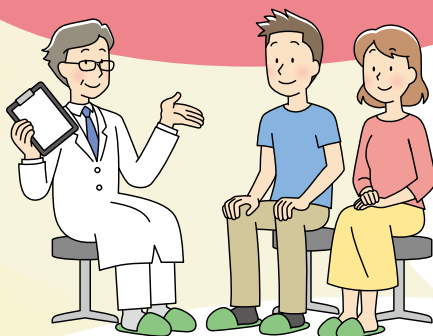
令和5年4月より、当センターに専従のがん相談担当看護師が1名配属となり、医療ソーシャルワーカーとともに相談者（患者さんやご家族）への相談を受け付けております。

多くの相談者から、「がんと診断されて不安。誰かに話を聴いてほしい」「副作用などがつらそうで治療できるか心配」「治療費が心配」「治療と仕事を両立できるか心配」「家族や友人、職場にどのように伝えれば良い？」など、とても多くの相談が寄せられます。

自分一人では、治療や療養をどのように選択したらよいか、自分一人では決定が難しく、悩んでいる方や、また、他に治療法はないか模索している方も多くいらっしゃいます。

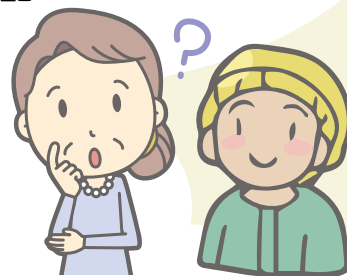
そんな時は、当センターの専従看護師が、がん相談担当看護師として、対面や電話相談にて、相談者と対話を重ね、問題を一緒に整理し、相談者自らが問題を解決していけるようお手伝いしていききたいと思います。

患者さんやご家族から 多く寄せられる相談



- 医師から説明を聞いたけれど、難しくてよくわからない
- どのように治療を選べばよいかわからない
- 他に治療法がないか教えてほしい
- 副作用が心配

- 誰に、どのように相談したらよいかわからない
- 治療を受けながら働けるか不安
- 家族や友人として、どのように支えたらよいか？
- 病気や治療について、家族や友人、職場にどのように話したらよいかわからない



- 治療費が心配
- 利用できる制度を知りたい
- 在宅療養や緩和ケア病棟について知りたい



がん相談支援センターでは **仕事に関する相談を お受けしています**

がんと診断された直後、「職場に迷惑をかけるのではないか」等と悩み、仕事を辞めてしまう方も少なくありません。

一方で、がんの早期発見や治療法の進歩により、入院せずに外来で治療ができるようになってきており、治療をしながら仕事を続けている人も増えてきています。

また治療には何かとお金がかかるのも現実です。

治療を受けるにあたり、さまざまな理由から退職を考えることがあるかもしれませんが、すぐに退職を決めるのではなく、まずは、主治医へご自身の病気のことや、治療のスケジュール、その副作用や後遺症などについて確認しましょう。そして、職場の上司や産業医等と勤務の仕方や就業規則、休暇制度を確認しながら、話し合しましょう。

お困りのときは、がん相談支援センターにご相談ください。



こんな相談もお受けしています

■ 現在、お勤め先のある方は…

岩手県産業保健センター 両立支援相談をご利用ください

両立支援相談員がお勤め先との調整をはかり、両立支援プランの作成をお手伝いします

■ 病気療養しながら、就職を目指したい方は…

ハローワーク盛岡 長期療養者就職支援事業をご利用ください

就職支援ナビゲーターと就職について相談することができます

（**院内で無料相談会を開催しております**
ご相談をご希望の方は、事前にがん相談支援センターへ
ご連絡下さい）

相談時間 月曜日～土曜日(第1・4土曜日のみ)
午前9時00分～午後5時00分(土曜日は12時)まで

場 所 附属病院1階(矢巾)
「患者サポートセンター内・がん相談支援センター」
電話 019-611-8073 (直通)

*相談料は無料です。

*相談内容の秘密は厳守します。安心してご相談ください。

ホームページ公開のお知らせ

岩手県がん診療
ポータルサイト

がんに関する岩手県内の病院、治療、緩和ケア、医療制度や支援など。がん療養をサポート。

がん診療情報 | 療養・生活サポート | 若い世代のがん | 寄り添い・語り合い | お知らせ

医療関係者へ

がん情報を 知る 見つける
岩手県がん診療
ポータルサイト



岩手県内の各がん診療連携拠点病院が中心となり、構成されている岩手県がん診療連携協議会のホームページが、この度リニューアルされました。

岩手県内における様々ながんに関する情報が掲載されております。当院のがん相談支援センターやがんサロンも掲載されておりますので、是非、ご覧下さい。

がんについて知りたい
がん情報・治療・検査について



がん診療
のこと

QRコードは
こちら



がんとお金について知りたい
がんの治療費と医療保険制度について



がんとお金
のこと

QRコードは
こちら



治療中の生活について知りたい
がん患者の仕事と治療の両立について



生活・仕事
のこと

QRコードは
こちら



がんや治療について相談したい
がん相談支援センターのご案内



相談窓口
のこと

QRコードは
こちら



当がんセンターでも、ホームページ作成に協力させて頂いております。皆様の有益となる情報を提供できるよう目指して参りますので、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

岩手県 がんポータルサイト 検索

<https://www.hosp.iwate-med.ac.jp/hospital/gankyougikai/portalsite/>



がん患者・家族サロンからのお知らせ

＼たくさんの寄贈品ありがとうございます。／



手作りコースター



コットン帽子



カメ・ふくろうのストラップ



50羽折り鶴キーホルダー



タオル帽子



絵はがき

患者さんより、お礼のメッセージが届いております。

本当にありがとうございました。

治療の副作用は、今まで経験したことのないものばかりです。つらさにくじけそうになります。頂いたタオル帽子にとっても励まされます。活動に感謝し、大事に使わせていただきます。

肌触りが良く、寝る時に使用させていただきます。とても肌触りが良く、洗濯もしやすいのでとても気に入っています。皆様の活動にお礼を申し上げます。

がん治療は、つらく、苦しく、泣いてばかりでしたが、こんなおしゃれなタスキキーと出会い頑張っております。前向きにいきます。

抗がん剤の脱毛はとてもストレスです。抗がん剤治療が決まった日にがんサロンでこの帽子をいただけてとても嬉しかったです。手触りもよく、何よりも応援してくれる人がいると思うと心強いです。

髪がたくさん抜けて困っておりました。明るいピンクが気持ちまで前向きにさせてくれる気がします。大切に使用させていただきます、ありがとうございました。

脱毛後、はじめての治療時に看護師さんから、かわいい帽子ねと声をかけてもらいました。大事に使います。ありがとうございました。



がん患者・家族サロンからのお願い

＼タオルの寄付をお願いいたします。／

がん患者・家族サロンでは、抗がん剤治療による副作用で髪の毛が抜ける患者さんに、ボランティアさんが心をこめて作った手作りのタオル帽子を差し上げております。髪が抜けるという外見の変化は、抗がん剤治療を行う患者さんにとって想像以上のストレスや悲しみを与えます。そんな方々に喜んでいただけるよう、皆様よりご寄付頂いておりますタオル帽子ですが、近年、その帽子作りに必要なタオルが不足しております。ご家庭で使わないタオルがありましたらぜひご寄付をよろしくお願い申し上げます。



内 容 未使用のタオルもしくはバスタオル

方 法 がん患者・家族サロンに直接お持ちいただくか送付ください。

院内のがん相談窓口

■がん相談支援センター

がん相談支援センターは、がん患者さんやご家族だけでなく、なたからのご相談も、面談または電話により無料でお受けしております。

専門の相談員が対応しますので、心配なことがありましたら、どんなことでもご相談ください。(個人情報厳守いたします。)

お待たせすることもありますので、あらかじめお電話にて日時をお約束をすることをおすすめいたします。

医療費・経済的負担のこと

療養生活のこと

セカンドオピニオンのこと

病気のこと

仕事と治療のこと

家族のこと



☎019-611-8073 (直通)

平 日 (月～金) 9:00～16:00
第1・第4土曜日 9:00～12:00
岩手医科大学附属病院 1 階
患者サポートセンター内

■がん患者・家族サロン

がん患者・家族サロンは、がん患者さんおよびその家族に対する精神面を中心としたケアの充実を目的とした場所です。岩手医科大学附属病院での治療の有無に関わらずどなたでも無料で利用できます。

☎019-613-7111 (内線 3222)

平 日 (月～金) 10:00～16:00

岩手医科大学附属病院 東エレベーター 2 階 20 番



がんに関する冊子や書籍の他、治療に伴う脱毛対策としてのウィッグやタオル帽子・コットン帽子のことなど、様々な情報を提供しております。

がん患者・家族サロンホームページ

<https://www.hosp.iwate-med.ac.jp/hospital/gancenter/salon/index.html>

～一人で悩まずに、あなたの不安やつらさをお話してください。～



QRコードはこちら

編集後記

がんセンターだよりをお読み頂き誠にありがとうございます。当サロンでは、秋頃、岩手県立盛岡となん支援学校の子供達が書いた絵の展示会を予定しております。また、他にも様々なイベントを企画しておりますので、是非サロンにお寄り下さい。



岩手医科大学

問合せ先

岩手医科大学附属病院 がんセンター
〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通二丁目1-1

TEL 019-613-7111
(内線 3222)